

共同助成(福岡県遊技業協同組合)

「益城町よりあいコミュニティ支援プロジェクト」事業

仮設団地内の集会所で活動する手芸サークルを支え居場所や生きがいとしてのコミュニティの維持に貢献

2016年4月の熊本地震発生直後、避難所となったホテルで一部の人たちが始めた編み物会がルーツとなって誕生した「ましきアミーゴ」。仮設住宅団地に移転しても活動を続けているが、それを支援しているのが福岡県太宰府市に拠点を置く「NPO法人チャルカ・ジャパン」。多様な人が住む仮設団地のコミュニティ維持に寄与している。



仮設団地の集会所で行われる手芸サークル活動



活動を告知するチラシ

熊本県内最大の仮設団地の手芸サークルの活動を支えてコミュニティの維持に努める

熊本空港のすぐそばに整備された仮設住宅の一つ、益城町テクノ仮設団地は516戸という、熊本県内に設けられた仮設団地としては最大である。その中に設けられた集会所を活動場所にして、週3回、9時から17時頃まで集まり、古布や古毛糸などを材料に、鍋つかみ、たわし、コースター、携帯ストラップ、袋物などを作っている団体が「ましきアミーゴ」である。

「ましきアミーゴ」に参加しているのは、テクノ仮設団地で暮らす70代後半から80代前半の女性で、現在は7~8名が活動している。「当初は3~4名でスタートし、ほぼ毎日、活動していました。途中で12~13名程度までメンバーが増えましたが、公平な使用が求められる集会場という性

質上、活動場所の確保が難しくなったり、グループを離れたたり、仮設を出て行かれる方もいたりして、現在は常時参加しているのが3~4名といったところです」と話すのは、「ましきアミーゴ」の支援を続けている「チャルカ・ジャパン」の理事長、山邊悦弘さん。

「チャルカ・ジャパン」は、インド独立の父、マハトマ・ガンジーが唱えた「糸車」の思想に共感し、自立、平等、持続可能な循環型社会の実現を基本理念に、インドの身寄りのない高齢者施設や孤児院の支援などを行ってきた団体だが、熊本地震発生以降、被災地の物資支援、ヘルスケア支援、生活再建の相談活動などを行っている。熊本学園大学の学生有志が運営しているテクノ仮設団地内の「おひさまカフェ」で、後に「ましきアミーゴ」となるメンバーと知り合ったことで、その支援を行うことになったという。

外部の第三者が継続的な支援をすることで高齢住民の孤立化を防ぐための居場所づくり

「支援活動の内容としては、商品企画、販路拡大、イベントでの販売補助、商品のパッケージ・ラベルの提供などが主なものとなります。こちらからの情報発信や口コミ、さらに商品が安価だということもあって、小規模ながら各種団体などを通して商品が販売されるようになりましたし、県内の人気温泉地の黒川温泉組合などでもおみやげとして扱ってもらえるようになりました」と、山邊さん。

こうした製造・販売支援も大切だが、それ以上に重要なのが、「ましきアミーゴ」の活動を通じて、仮設団地で暮らす高齢者の集いや交流の拠点となるコミュニティを形成・維持し、居場所づくりや生きがいづくりをすること」だと、山邊さんは話す。こうしたコミュニティがなければ、高齢者はどうしても住宅内にこもりがちになり、それが孤立感を生んだり、健康を損ねる原因になったりするという。こうしたことは先の東日本大震災後の復興過程でも指摘されたことで

もあるため、きめ細かい対応が必要であることは間違い無い。

「多様な人が住む仮設住宅団地内でのコミュニティ支援は容易ではありませんが、私たちのような外部の第三者が継続的に支援をすることで、離合集散がある中でもコミュニティが維持され、住民の居場所づくりに貢献することができると思っています」と、山邊さんは話す。AJOSCと熊本県遊技業協同組合からの助成は、支援活動のための人件費、ガソリンや備品などの消耗品を含め、活動の定着のための費用として大いに役立った。今後も、復興を支えるコーディネーターとしての活動を継続していくという。

福岡県遊技業協同組合より

仮設団地で暮らす高齢者のコミュニティ作りは最重要課題です。今後も手芸による交流で孤立感を防ぐ活動に期待しています。



細かな作業で手先を操るため認知機能の向上にも役立つ



制作された作品の数々

助成団体: 特定非営利活動法人 チャルカ・ジャパン

<http://www.charkhajapan.org>



被災者のために小回りの利いた支援活動を今後も継続していく

今回は支援いただき、ありがとうございました。ほとんどの財産を失った被災者の生活再建は10年単位での時間がかかると思われませんが、行政や大きな支援団体ではできない、小回りの利いた支援も大切だと思っています。もうしばらく継続して活動したいと思います。九州北部豪雨災害の被災地、朝倉での支援活動も行っていますので、そちらのほうもよろしく願います。

NPO法人 チャルカ・ジャパン
理事長 山邊悦弘さん